

# 施策評価シート（平成29年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	2-1	政策名	環境の保全	政策の 目指す姿	豊かな自然と生活環境を守り暮らし しています	施策 主管課	生活環境課	施策主管 課長名	清水 正浩
	施策No.	2	施策名	自然環境の保全	施策の 目指す姿	自然への理解を深め、自然を保護 する活動を行っています	関係課名	大迫総合支所地域振興課		
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>高山植物の保護など早池峰山地域における自然環境を守る必要があります。</li> <li>早池峰国定公園の利用環境の向上のため、携帯トイレの利用促進が図られていますが、登山者からはバイオトイレ整備を求める声があります。</li> <li>急激に増殖しているニホンジカによる高山植物等の食害が懸念されています。</li> <li>早池峰山の河原の坊登山道は、平成28年5月に発生した山腹崩落により閉鎖措置が続いていることから、登山者の安全確保が必要です。</li> <li>特定外来生物の生息域の拡大により、在来種の衰退などの生態系への影響が懸念されています。</li> </ul>								

## ◎ 前年度の評価の振り返り

<p>(前年度評価時の今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早池峰国定公園地域における自然環境を守るため、関係機関や自然公園保護管理員による自然保護活動を継続することにより、登山者に対する携帯トイレの普及などのマナーの向上を図るとともに、高山植物の保護についての理解と自然環境の保全に努める。</li> <li>自然保護団体等から情報提供をいただくなど、本市に生息する動植物の現状把握に努めるとともに、保全活動のあり方について検討する。</li> <li>希少生物の保護について引き続き支援を行うほか、特定外来生物の駆除について広報紙やホームページを活用し周知に努め、生態系の保全を図る。</li> <li>環境マイスター制度について、広報紙やホームページをはじめさまざまな媒体を使った周知に努める。</li> </ul> <p>(反映状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関や自然公園保護管理員による登山道の整備、高山植物盗採防止パトロールの実施のほか、登山者に対する携帯トイレの使用などの登山マナーの呼びかけを行い、自然環境の保全に努めた。</li> <li>本市に生息する動植物の現状を把握するため、自然保護団体や環境マイスターを対象としたアンケート調査を1～2月にかけて実施し、基礎資料となるデータを収集したものの、保全活動のあり方についての検討は進んでいない。</li> <li>ゼニタナゴの生息環境保全活動を行う団体への支援を行ったほか、広報紙や市ホームページを通じて特定外来生物の駆除について周知した。</li> <li>環境マイスター制度について、広報紙や市ホームページへの掲載に加え、新たにコミュニティ会議に周知したほか、機会を捉えての周知に努めた。</li> </ul>
--

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1)自然保護の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○早池峰山等の自然環境保護と利用環境の向上</li> <li>○早池峰国定公園地域における自然公園保護管理員の設置や花巻市、遠野市、宮古市等で構成する早池峰国定公園地域協議会への支援を実施</li> <li>○ニホンジカ食害の防止対策</li> <li>○関係機関、関係団体、学識経験者で構成する早池峰地域保全対策事業推進協議会シカ対策部会で調査情報収集を実施</li> <li>○水質の定期観測</li> <li>○河川の水質環境を良好に維持するため、定期的な観測を実施</li> <li>○希少生物等の保護への支援、啓発</li> <li>○ゼニタナゴの生息環境保全活動の支援</li> <li>○特定外来生物の駆除に関する啓発</li> <li>○環境学習などを通じた環境保全意識の啓発</li> <li>○環境マイスター派遣制度による環境学習支援</li> <li>○環境学習講座や水生生物調査を実施</li> </ul>
--

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31
自然環境を守るための行動を実際に行っている市民の割合(E-2)	市民がどれだけの割合で自然環境を守る活動に関わったかを示す指標	出典:市民アンケート 問:あなたはこの1年間に次のような自然環境を守る行動を行ったことがありますか?いくつかあてはまるものに○をしてください。 (1)身近な水辺空間の環境保全(2)野鳥や生き物が住める環境づくり(3)自然環境を守るための学習活動(4)植樹などの森林の保護活動(5)住んでいる地域の美化活動(6)その他(具体例)(7)何もしていない ※1つ以上選択者をカウント	%	目標値	63.0	65.0	67.0	69.0	71.0	73.0
				実績値	59.9	62.3	60.6	73.4		
				目標値						
				実績値						

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>■成果指標「自然環境を守るための行動を実際に行っている市民の割合」【達成度a】</p> <p>環境マイスターの派遣や環境学習講座を通じた啓発活動のほか、さまざまな自然環境保全活動を継続した成果が現れたものと考えられる。また、市民アンケートの設問の見直しの際、回答項目の「(5)住んでいる地域の美化活動」を、地域において日常的に行っている清掃活動も美化活動に含まれることから、「(5)住んでいる地域の清掃や美化活動」とし、より具体的にイメージできるよう文言を追加したことにより、これまで「何も行っていない」又は無回答であった人の割合が減った(39.4%→26.6%)ことも達成要因のひとつと考えられる。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結	
1	河原の坊施設管理事業	大迫総合支所地域振興課	間接・少数	直結	-
	河原の坊総合休憩所、早池峰山山頂避難小屋、鶏頭山避難小屋、うすゆき山荘の維持管理				
2	自然環境保全活動推進事業	大迫総合支所地域振興課	間接・少数	直結	-
	早池峰国定公園地域の自然環境保全のため、自然公園保護管理員を配置(4人) 早池峰国定公園地域協議会の実施する入山式、高山植物盗採防止パトロール(9人)などへの支援				
3	公害防止対策事業(再掲2-1-3公害の防止)	生活環境課	一致	直結	B
	市内の河川水質の定期観測を実施 (37地点 147回)				
4-1	環境学習推進事業	生活環境課	一致	直結	B
	ゼニタナゴの生息環境を保全するため、自然保護団体が行う保護活動を支援				
4-2	環境学習推進事業	生活環境課	間接・少数	直結	B
	環境マイスター派遣制度による環境学習支援のほか、環境学習講座や水生生物調査を実施 (環境マイスター派遣回数:23回、環境学習講座の開催:6回、水生生物調査10回)				
5	特定外来生物駆除啓発事務(ゼロ予算)	生活環境課	一致	直結	-
	アレチウリ、オオハンゴンソウ、セアカゴケグモ等の特定外来生物の駆除について広報及び市ホームページで啓発 (広報掲載1回、ホームページ随時掲載)				

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <p>・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <p>・環境マイスター派遣制度のさらなる周知や、環境学習講座の内容充実により、市民に対しより多くの環境学習の機会を提供する。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <p>・なし</p>
---

6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早池峰国定公園地域においては、関係機関や自然公園保護管理員による自然保護活動により自然環境の保全が図られているが、引き続き登山者のマナーの向上について意識啓発を図る必要がある。</li> <li>・市内に生息する動植物の生息状況を把握するため実施したアンケート調査結果を有効活用するための検討が行われていない。</li> <li>・特定外来生物の生息域の拡大により、在来種の衰退など生態系への影響や市民生活への影響が懸念される。</li> <li>・環境マイスター制度の利用者が固定化している状況がある。</li> </ul> <p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早池峰国定公園地域における自然環境を守るため、関係機関や自然公園保護管理員による自然保護活動を継続することにより、登山者に対する携帯トイレの普及などのマナーの向上を図るとともに、高山植物の保護についての理解と自然環境の保全に努める。</li> <li>・引き続き市内に生息する動植物の生息状況について調査を行うとともに、環境マイスターや自然保護団体等の代表者による意見交換会を開催し、保全活動の在り方やアンケート調査結果の活用方法について検討する。</li> <li>・希少生物の保護について引き続き支援を行うほか、特定外来生物の駆除について広報紙やホームページを活用し周知に努め、生態系の保全を図る。</li> <li>・環境マイスター派遣制度のさらなる周知に努め、新規利用団体の増加を図っていく。</li> </ul>
---